

国際ロータリー青少年交換計画（和訳文）

第 2630 地区 青少年交換委員会

親愛なる交換留学生のあなたへ

第 2630 地区に交換学生としてあなたをお迎えできることを嬉しく思います。青少年交換計画は、ロータリーにとって最も重要かつ有意義なプロジェクトの一つです。これは、世界の人々の間で友情と相互理解を深めるための大きな一歩であると感じており、我々が大きな誇りを持つプロジェクトでもあります。

あなたが来日する第 2630 地区は、日本の本州の中央に位置しています。この地域は、日本社会の伝統的な価値観が特に豊かな地域であり、あなたが体験し、吸収できる情報や文化が豊富にあります。

これまでの経験とは全く異なる新しい体験となるでしょう。ホストクラブと地区委員会は、あなたが最初の荒波を乗り越え、これからの 1 年が人生で最も有益で楽しい経験となるように支援します。

地区委員会とホストクラブは青少年交換計画に多大な努力をしますが、成否の大部分はあなたの努力と協力にかかっています。我々は、あなたに忠実に守ってほしい一定の基準、規範を長年の経験をとおして作成しました。それは第一にあなたのためであり、又この計画を全体としてスムーズに進めるためです。

学 校

あなたは交換留学生として高等学校へ通学するビザを日本政府から受け取りました。あなたが日本に滞在するには、高等学校に通学することが必須条件です。

日本の高等学校は、あなたの母国の学校とは多くの点で大きく異なります。多くの教科でカリキュラムが違っています。伝統的に学校は、生徒が校舎内にいる間だけでなく家にいる間や休暇中でさえも生徒に対して責任があります。そのため学校は、いつでも何処においても守るべきガイドライン（校則）を生徒に示しています。この規則は校外にも及びます。これらの規則の詳細は学校によって異なりますが、全体的に規則はおおむね共通しています。

日本の高等学校は義務教育ではありませんが、中学卒業者の約 95%が高等学校に進学しています。日本の全ての高等学校では、学生制服の着用が義務付けられています。制服は学校によって異なります。制服はファッション性に欠けませんが、必ず着用しなければなりません。例外はありません。制服なくして学校なし：学校なくして交換留学生なし。制服だけでなく、足元、靴下、髪型など、各学校には独自のドレスコードがあります。女子の場合、化粧、アクセサリ

一、髪飾りなどはタブーです。学校によっては、これらの規則の施行に関して他よりも寛大な場合もありますが、とにかくあなたは言われたことを守り、従うことです。

あなたのカリキュラムは学校当局が決めます。日本語の学習時間はかなり多く与えられるでしょう。先生に教えてもらったり、自分で勉強したりします。この時間を有効に使ってください。交換留学生として成功するかどうか、また交換留学から得られるものが大きいかどうかは、あなたがどれだけ日本語を扱えるかにかかっています。コミュニケーションなしに人々と親しくなり、友好関係を築くことは非常に困難です。

語彙を覚えるのが早ければ早いほど、ホスト家族や地域社会の一員として早く溶け込むことができるでしょう。日本語は大変難しいですが、それだけにやりがいもあります。特に難しい言語の場合、克服することは甘くありません。しかし、それは可能ですし、今まででもできたことです。交換学生として成功するか否かはあなたの努力次第です。

喫煙と飲酒は20歳まで法律で禁止されています。日本の学校では、交際が禁止されているため、学生のためのダンスパーティなどの社交行事は行われていません。外国からの学生にはおかしく思える規制もあり、又不思議に思えるものもあるでしょう。しかし、学校は規則によって作られるものではなく、そこにいる人々によって作られることを忘れないでください。皆さんは、日本に来て仲間の学生やロータリーの人たちと友達になりました。クラスメートとの間に末永い友人が沢山できることを願っています。そのためにロータリーは、世界理解と平和を願って交換プログラムを通して努力しているのです。

ホスト家庭

ホスト家庭はあなたの家です。日本に滞在中、ホストの父母はあなたの両親として行動します。又、ホストの兄弟もあなたの兄弟となります。家庭の習慣、伝統は違っています。あなたが交換学生であるのは、一つには外国事情を直接経験するためなのです。ホストクラブは地区の施策に従ってホスト家庭の数と引越しの時期を決めます。時に引越しはちょっとした精神的な打撃です。滞在中に養われた精神的な繋がりは大変深く、引越ししたくないかもしれません。しかし、交換学生に出来るだけ広く経験させるのが大きな狙いですから、少なくとも3～4家庭と生活を共にするのです。当初決めたホスト家庭は個人的あるいは家庭的な理由により変更する時もあり、またその滞在期間も変更になることもあります。もしホスト家庭とトラブルがあれば、すぐにカウンセラーか地区委員会に相談してください。ただちに十分考慮します。

下記の事項は忘れず理解してください。

1. 電話はホストの許可を得て使用し、3分程で切る。長電話は、時にはホスト家庭に多大の迷惑になります、国際電話は自分で支払うこと。

2. 夜間外出はホストの許可と同伴者が必要です。また、午後9時までには帰宅すること。
3. ホスト家庭と外泊しても宜しい。但し、地区外であれば、カウンセラーの許可を要します。
4. 茶道、華道などの習い事は自分で支払うこと。
5. 学校を欠席するときは、ホストが学校より許可を取ります。長期欠席は、カウンセラーおよび地区委員と相談が必要です。
6. 衣類など日常必需品は自前です。自分で洗濯すること。クリーニング代金は自前です。
7. あなたの両親、スポンサークラブ、スポンサー地区委員会には頻繁に手紙を書きなさい。
8. 困ったことがあれば、遠慮なくホストの両親又はカウンセラーに話しなさい。カウンセラーには定期的に、少なくとも月2回は会うのが望ましい。
9. 厳禁事項
 - a) 自動車の運転及び自動二輪者の運転、又は自動二輪車の相乗り
 - b) 飲酒、喫煙
 - c) 覚醒剤、麻薬、アヘン等
 - d) 恋愛感情

旅行規則

次のガイドラインは2630地区すべての交換学生に適用されます。ロータリーの家族、又はロータリーの承認した家族との旅行は奨励されます。旅行には学校の休暇中に限ります。2630地区を出る旅行は、上記の家族旅行であっても地区委員に通知すること。個人旅行は次の手順を踏むこと。

A. 地区内の旅行

次の手順を踏めば地区内旅行は自由。

- a) 地区内の旅行は、必ずホストファミリーとカウンセラーの了解を得ること。時期、場所、交通手段の詳細な計画を整えること。
- b) 地区委員と接触し旅行先の必要事項を整えてもらう。旅行先ではロータリアンの家に泊まること。ロータリアンの家に泊まることができれば許可されます。許可がおりるには時間を要するので、少なくとも1週間前に申請すること。2630地区内外の他の交換学生

を招待するには、必ずホスト家庭、カウンセラーおよび地区委員の許可を取ること。無断外泊は厳禁。

- c) 地区内であっても長距離になる場合は、ロータリアン又はホストファミリーの同行が必要である。

2630 地区内の他の交換学生又は他地区の交換学生を自分の家に招待してはいけない。招待する場合は、必ずホストファミリー、カウンセラーおよび地区委員の了解を得ることが先決です。

B. 地区外の旅行

地区外への旅行はホストロータリークラブの会長の承認が必要。承認後、クラブから地区外旅行届を地区委員長に提出してもらうこと。その手続きの方法は下記のとおり。

- a) 時期、場所、交通手段の詳細な計画を整えること。
- b) ロータリアン又はホストファミリーの同行が必要。ホストファミリーの同行者は、未成年は不可。他の交換学生又は学校の友人との単独旅行は不可。地区外届は、2週間前迄に提出すること。

なお、旅行の費用はすべて本人負担である。

その他

賢者への言葉

日本人は他のアジア人と同様、西洋人は攻撃的すぎるし、素直すぎると一般的に考えている。西洋人はあまりにも主張しすぎる。このため西洋人は狩人、東洋人は農夫と例える人もある。日本人は東洋人として、日々の人間関係において調和と謙遜を尊重する。

お小遣い

ホストクラブから月10,000円のお小遣いが与えられる。この額は多くも少なくもない。この金額内で過ごせるよう考えて遣いましょう。

郵便や写真に多額のお金がいるでしょう。今日が最終日かのように無茶撮りしてしまわないようにしてください。1年間も日本に居るのです。時間をかけて選択して撮りましょう。

日記

日記をつけるのは良い習慣です。帰国して日本の日々を思い出す拠り所を間断なく与えてくれるでしょう。又、日本の生活を構成するのに役立つでしょう。最初の2～3ヶ月はゆったり

していますが、しばらくすると非常に忙しくなり、何らかの記録をしないと多くを忘れてしまいます。

外 食

一般論としては必要がなければ外食してはいけません。ホスト家族はあなたの健康に対して責任を持っており、あなたの食事は重大な関心事です。外食をする場合は、場所を選ぶようにし、狭い場所には入らないようにしましょう。また、家庭を訪問した際に、その場で食事に誘われても断るようにしましょう。迷惑をかけてしまうからです。一般的なルールとしては、食事はすべてホスト家庭と一緒に取るか、事前にホスト家庭の了解を得て招待された家庭でとるようにしましょう。

自由時間

始めはひまな時間が多いでしょう。上手くコミュニケーションが取れないと困ります。日本語を学ぶことに時間を使ってください。漫然と座ってばかりいて根を生やしてはいけません。自分の部屋に閉じこもらないこと。たとえ話が分からなくても、家族の部屋に出て家族の中に入り、コミュニケーションをとりましょう。

贈り物

病院に人を見舞ったり、他人の家に招待されたりした時にはプレゼントを持参すると良いでしょう。できれば贈り物は、シンプルで自分らしい物が良いと思います。本国から持参した土産なら申し分ありません。ここで重要なことは、贈り物を持ってきたという心が大切であって、贈り物の価値や中身ではありません。誕生日は、日本ではあまり盛大に祝いませんが、ホスト家庭の兄弟姉妹にちょっとした贈り物…何か小さなもので意味のあるもの・・・をするのは適当なことです。旅行に行った時、日本では家族にお菓子か小さなお土産を持って帰るのが習慣になっています。どこでも売っている、値段も安いもので良いので。

挨拶

年長者に対しては、常に礼儀、マナー、正しい敬意を示さなければなりません。一般に日本人は前述のような尊敬や愛情を、ハグやキスなどのようにあからさまに表現しませんが、その感情は常に本物です。日本人は、自分より年上の人にはお辞儀をして挨拶します。苗字の後に「さん」を付けるべきです。つまり佐藤さん、佐藤さんと呼ぶのです。家族の中で自分より年下の弟・妹には名前の後に「ちゃん」を付けます。家族以外では、よほど親しい間柄でない限

り、一般的にファーストネームは使わないのが普通です。

招 待

誰かに招待を受けた時には、その場で返事をしてはいけません。ホスト家庭の許可を得てから返事をする。事前にホスト家庭の許可なくして、食事やパーティに他人を家に招かないこと。思いがけない来客は不都合です。帰宅時間もあわせて家族に訪ねてください。それは常識です。招待されるときも同じです。前もって言われていなければ、食事は遠慮しましょう。また、長居もしてはいけません。

言葉の勉強

楽をして日本語は覚えられません。毎日決まった時間に、標準的なテキストに沿って、毎日集中して勉強しなければなりません。耳をすまして道を歩いていても、或いはただテレビを観ても言葉は覚えられません。しかし、正式に勉強してからならば、それらは十分に役立ちます。

許 可

ホスト家庭とカウンセラーはあなたに責任があります。ですからホスト家庭やカウンセラーと常に連絡を絶やさないようにしてください。あなたの要求は、大抵ホスト家庭がそれを判断します。夜間外出には行き先、同伴者および帰宅時間を確認してください。但し、最終的に外出の許可をするのはホスト家庭です。最初の内はいかなる理由があってもホスト家庭の手を離れることは許されません。暫くすると行き先や同伴者によっては許可されることがあります。要するに、ホスト家庭に不当な迷惑を掛けるようなことをしてはいけません。

優先順位

あなたは、ロータリーが保証人である交換学生です。ロータリーの会員又はロータリークラブが承認した家庭があなたの家です。ですから他のいかなる規則、規制、習慣、習わし、指揮監督、或いはもっともらしい合法的な例外と自分で考えられるあらゆる事由より、ロータリー規則が最優先します。ロータリーの規則はあなたが遵守するように作られていることを銘記してください。まず、ロータリーが第一であって、あなたの個人的な約束は第二です。ホストクラブに1年間滞在する間、あなたはそのクラブの現在および将来に亘る交換計画そのものです。あなたの成功が、そのクラブの青少年交換計画への長年に亘る協力を可能にするのです。もし上手く行動できなければ、あなた自身益々駄目になるばかりでなく、今後何年間もその地区の青少年プログラムを駄目にします。

買い物

日本にいる間、カメラ、時計、CDプレーヤー等どちらかと言えば高価なものを買う予定があれば、少し待ってホスト家族かカウンセラーに助言を求めてください。どこで買ったら良いか教えてもらえるでしょうし、ディスカウントしてもらえるかもしれません。1年という時間があるのですから、気長に選んでください。

感謝の手紙

感謝の気持ちは「忘却される美德」と呼ばれるかもしれませんが、確かに喜ばれます。親切にしてくれた人、食事に招いてくれた人、旅行に連れて行ってくれた人、買い物を手伝ってくれた人等に忘れずに手紙を書きましょう。日本の絵葉書はそれに最適です。

両親の訪問

両親は留学先へ最初の6ヶ月は訪問すべきではありません。もし訪問するならば交換学生が帰国する後半数ヶ月にするべきです。その場合でも子女との接触は短時間に留めるべきです。なぜなら子供の勉強を妨げる傾向があるためです。

ホスト家庭への手紙

1年間の留学後に帰国した際には、ホスト家庭、ホストクラブ、受入学校の先生にできるだけ頻繁に手紙を書くことをお勧めします。そうすれば交換計画と同様、国際親善を促進することになります。残念ながら帰国してから手紙を出さない学生がいますが、そのことを残念に思います。青少年交換計画のためにも、手紙を書くことを怠らないでください。

終わりに、あなたはゲストではなくロータリーの大使、或いはあなたの国の大使であること、また留学中はホストクラブと地区青少年交換委員会の規則と保護を受けるということを銘記してください。あなたの行動が、ホストクラブ、受入学校および地区青少年交換委員会に受け入れられない場合は、予定の帰国期日を待たずに送還されることがあります。

注意事項

1. 規則

- a) 電話 ホスト家庭の許可をもらうこと。電話は3分以内で終わらせること。
国際電話は学生本人が支払うこと。
- b) 外出 ホスト家庭の許可をもらうこと。付き添いがなければならない。
- c) 外泊 カウンセラーの許可がなければ外泊は認められない。
- d) 習い事 例：茶道、生け花等
学生本人が授業料を払うこと。
- e) 学校を欠席する ホスト家庭から学校に連絡してもらうこと。もし、長引くようであれば、カウンセラーに連絡すること。
- f) 日用品 例：下着、洋服、化粧品（洗面用具含む）等
すべて学生本人が支払う。
- g) 洗濯 クリーニングは学生本人が支払う。
- h) 小包 帰国時、荷物を送るため、ホストクラブは3万円まで援助する。それ以上かかる場合は、本人が差額を支払うこと。
- i) ロータリーの活動以外は、学校に出席しなければならない。

2. カウンセラーがあなたのパスポート、航空券およびその他の大切な書類を保管します。余分なお金は銀行に預けた方が良いでしょう。

3. 両親、スポンサークラブ、スポンサー地区委員会、学校に手紙を頻繁に書くこと。

4. あなたは、客でも召使でもありません。ホストファミリーの一員として行動すること。

5. 何か問題があれば、ホストファミリーやカウンセラーに相談すること。

6. 下記の事柄は禁止されています。

- a. 車の運転
- b. オートバイの運転又は後部座席に乗ること。
- c. アルコール
- d. 喫煙
- e. 特別な男女関係

7. お小遣い

月額10,000円